



政府統計

報道関係者 各位

令和3年9月16日

【照会先】

政策統括官付参事官付雇用・賃金福祉統計室

統計管理官 野口 智明

室長補佐 野仲 さゆり

労働経済第一係

(代表電話) 03(5253)1111(内線 7622)

(直通電話) 03(3595)3145

## 労働経済動向調査(令和3年8月)の結果を公表します

～労働者過不足判断D.I.は、正社員等労働者、パートタイム労働者とも引き続き不足超過～

厚生労働省では、このほど、労働経済動向調査(令和3年8月)の結果を取りまとめましたので、公表します。

「労働経済動向調査」は、景気の変動が雇用などに及ぼしている影響や今後の見通しについて調査し、労働経済の変化や問題点を把握することを目的に、四半期ごとに実施しています。また、今回は特別項目として、「労働者不足の対処方法」及び「令和2年度新規学卒者の採用枠での募集」についても調査しています。

本調査は、令和3年8月1日現在の状況について、主要産業の規模 30 人以上の民営事業所のうちから 5,835 事業所を抽出して調査を行い、2,975 事業所(うち有効回答 2,866 事業所、有効回答率 49.1%)から回答を得ています。

### (調査結果のポイント)

#### 1 正社員等雇用判断D.I.は、令和3年4～6月期実績でマイナスが拡大しつつも、今後はプラス見込

(1) 生産・売上額等判断D.I.(「増加」-「減少」)(注1)

・調査産業計 プラス1ポイント(前期実績見込:プラス2ポイント)

・産業別 「学術研究, 専門・技術サービス業」(+10)、「サービス業」(+9)などでプラスとなる一方、「不動産業, 物品賃貸業」(△11)、「建設業」(△7)などでマイナス

【P5表1、P15 第1図、P20 付属統計表第2表】

(2) 所定外労働時間判断D.I.(「増加」-「減少」)(注1)

・調査産業計 プラス5ポイント(前期実績見込:プラス3ポイント)

・産業別 「情報通信業」(+14)、「学術研究, 専門・技術サービス業」(+10)などでプラスとなる一方、「生活関連サービス業, 娯楽業」(△5)、「建設業」(△2)などでマイナス

【P6表2、P15 第2図、P20 付属統計表第2表】

(3) 雇用判断D.I.(「増加」-「減少」)(注1)

・正社員等雇用(調査産業計) マイナス10ポイント(実績)、プラス3ポイント(実績見込)、プラス5ポイント(見込)

・パートタイム雇用(調査産業計) マイナス3ポイント(実績)、マイナス1ポイント(実績見込)、0ポイント(見込)

※実績:令和3年4～6月期、実績見込:令和3年7～9月期、見込:令和3年10～12月期

【P7表3、P8表4、P16 第3図、第4図、P20 付属統計表第2表】

#### 2 正社員等、パートタイム労働者ともに、「不足」とする事業所割合が引き続き多い(令和3年8月1日現在)

○ 労働者過不足判断D.I.(「不足」-「過剰」)(注1)

・正社員等労働者(調査産業計) プラス29ポイント(41期連続で不足超過)

・パートタイム労働者(調査産業計) プラス20ポイント(48期連続で不足超過)

【P9表5、表6、P17 第5図、P21 付属統計表第3-1表】

#### 3 新規学卒者採用枠での募集(※ 調査期ごとに異なる項目)

○ 令和2年度新規学卒者採用枠での正社員の募集を行わなかったとする事業所の割合は33%と、前年同期(26%)を上回る結果となった。

【P13表12】

(裏面に続く)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。

(注1) 「D.I.(Diffusion Index:ディフュージョン・インデックス)」とは、変化の方向性を表す指標である。

(1) 「生産・売上額等判断D.I.」、「所定外労働時間判断D.I.」、「雇用判断D.I.」は、当該期(間末)を前期(間末)と比べて「増加」と回答した事業所の割合から「減少」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。なお、これらの値には季節による変動があるため、季節調整(注2)を行っている。

これらの判断D.I.がプラスであれば、前期(間末)よりも増加させた事業所が多いことを示す。

(2) 「労働者過不足判断D.I.」は、調査時点において、労働者が「不足」と回答した事業所の割合から「過剰」と回答した事業所の割合を差し引いた値である。

この判断D.I.が プラスであれば、人手不足と感じている事業所が多いことを示す。

(注2) 令和3年2月調査より「生産・売上額等」、「所定外労働時間」、「雇用」の判断D.I.の季節調整を、センサス局法 X-12-ARIMA の中の X-11 オプション SeasonalmaS3×1 から X-11 コマンドによる選定結果 (Seasonalma=MSR) に変更している。

令和3年2月調査以降に公表の季節調整値は、令和2年11月調査までの結果に基づき過去に遡って改定したため、令和2年11月調査以前の公表値と異なっている。